

2004年6月29日

独立行政法人経済産業研究所

## ネットワーク型イノベーションシステムに向けて ～ 研究開発の外部連携に関する調査結果～

独立行政法人経済産業研究所(RIETI)は、我が国企業の研究開発に係る外部連携について、2003年の実態に関する調査を行い、今般その結果をウェブサイト上に公開致しました。研究開発に関する競争が激化する中、外部連携を有効に活用してイノベーション効率を上げる必要性が高まっています。その一方でこれまで日本のイノベーションシステムは自社研究開発を中心とする「自前主義」が特徴と言われており、その実態については十分に明確化されていません。今回の調査結果がネットワーク型イノベーションシステムに向けた政策的取り組みの一助になればと考えます。(概要別添)

**【外部連携の実態】** 研究開発を行っている企業のうち、約7割の企業が研究開発に係る外部連携を実施。5年前と比較して、規模の小さい企業における外部連携が進んでいる。

**【連携増加の背景】** 外部連携を増加させている背景としては「研究開発競争の激化」と「基礎研究レベルの向上」。特に後者については大学との連携に期待。

**【外部連携の課題】** 外部連携を行う上で知的所有権を巡る問題をあげる企業が多い。また大学との連携については「研究内容が実用的でない」との指摘もある。

**【自社研究と関係】** 新規分野や先端技術に関する研究開発などを外部連携によって行い、自社研究はコア技術に特化するといった研究開発に関する「選択と集中」が進んでいる。

本調査は、日本アプライドリサーチ研究所への委託によって実施されました。

調査結果の詳細については、「研究開発の外部連携に関する実態調査」をRIETI ウェブサイト上で掲載しています。

(<http://www.rieti.go.jp/jp/projects/innovation-system/H15.html>)

### 問い合わせ先

RIETI ファカルティフェロー

元橋 ([motohashi-kazuyuki@rieti.go.jp](mailto:motohashi-kazuyuki@rieti.go.jp))

Tel:03-3501-8246、Fax:03-3501-8415

RIETI 広報担当

([info@rieti.go.jp](mailto:info@rieti.go.jp))

Tel:03-3501-1364、Fax:03-3501-8416

\*RIETI(独立行政法人経済産業研究所)：2001年4月に設立された政策研究を行う機関。理論的・分析的な研究をもとに健全な政策論争を喚起し、政策現場とのシナジー効果を生かして政策提言を行うことをミッションとしています(<http://www.rieti.go.jp/>)。